

NFAアクションプラン2022→2026	全体 頁中の 頁
1. 現状の概要と今後の方向性	地区協会 事業委員会 連盟
<p>・毎年、アルビレックス新潟に運営協力をいただきながら、天皇杯のアルビレックス新潟戦をデンカビッグスワンスタジアムで開催している。リーグ戦との兼ね合いから、平日開催となる場合が多く、例年の観客数は2,000人～4,000人で推移し、目標だった1万人以上には達していない。</p> <p>また、数年に1回のペースで日本代表戦を天皇杯同様アルビレックス新潟から運営協力をいただき、開催している。</p> <p>・天皇杯の観客数増に向けて、これまでの県協会登録チームへのチケット斡旋をより登録チームにメリットがある方法を検討するとともに、アルビレックス新潟との協力方法についても検討していくことが必要である。</p> <p>これまでの中期目標であった2022年目標の対しての達成度や現状、今後の長中期目標に対する現状の概要、今後の大まかな方向性などについて書いて下さい</p>	

NFAアクションプラン2022→2026	全体 頁中の 頁
2. 中期目標(2030年)	地区協会 事業委員会 連盟
<p>・毎年、天皇杯のアルビレックス新潟の試合をデンカビッグスワンスタジアムで開催し、1万人の観客数となる。</p> <p>・毎年、年代を問わず各種別の日本代表戦を開催する。</p>	

NFAアクションプラン2022→2026	全体 頁中の 頁
3. 長期目標(2050年)	地区協会 事業委員会 連盟
<p>・毎年、天皇杯のアルビレックス新潟の試合をサッカー専用スタジアムで開催し、1万人以上の観客数となる。</p> <p>・毎年、年代を問わず各種別の日本代表戦を開催する。</p> <p>・日本でFIFAワールドカップが開催される場合は、サッカー専用スタジアムで日本代表戦を開催する。</p>	

NFAアクションプラン2022→2026					全体 頁中の 頁
4. 現状分析					地区協会 事業委員会 連盟
No. と 事項	2026年具体的目標	2022年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1 普及	天皇杯アルビレックス新潟戦の 観客数1万人	天皇杯アルビレックス新潟戦の 観客数約2,500人	25%	登録チームへの効果的な チケット案内 アルビレックス新潟との 観客数を増やすための連携	アルビレックス新潟との連携強化
2 普及	毎年、日本代表戦を開催する	5年ぶりに日本代表戦開催決定 国際ユースin新潟の開催	80%	日本代表戦の県協会としての 運営能力の向上 新潟県、新潟市など関係団体 との連携	JFAへの積極的な働きかけ 自治体との連携強化
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2026年目標に向けての2022年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

5. 具体的アクション

事業委員会
連盟
地区協会

No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
1 普及	事業委員会が	機会を見て	アルビレックス新潟と	天皇杯集客アップを	検討する。
2 普及	県協会幹部が	機会を見て	日本協会に	日本代表戦開催を	働きかける。

↑現状分析での事項No.に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です